

日商1級
全経上級

第167回 (2024年6月) 日商簿記検定合格目標
第213回 (2024年2月) 全経簿記検定上級合格目標

直前対策

Web通信

Webライブ

教室通学

資料通信
(全国統一公開模擬試験のみ)

映像通学

日商1級&全経上級

W合格狙いが目標への最短距離!

日商1級&全経上級W受験をオススメする理由!

①日商1級合格を目標とする方

日商1級と全経上級は同じ論点が違う角度で問われますので、全経上級のトレーニングを通じて、論点のより深い理解を得ることができます。この勉強が日商1級の合格可能性を飛躍的に高めます!

②税理士受験資格取得を目標にする方

全経上級は年2回実施。日商1級と合わせると税理士受験資格の取得機会が“4回”となります。さらに、全経上級のトレーニングを通じて、論点のより深い理解を得ることができますので、合格後、新たな目標となる税理士試験簿記論、財務諸表論の合格可能性を飛躍的に高めます!

■日商1級受験後に全経上級を狙う!



日商1級と全経上級の学習範囲はほぼ同じだから、少しの対策で全経上級が狙えます!

■日商1級に再チャレンジ!



全経上級の学習・受験経験が日商1級合格のための大きなアドバンテージに!

全経簿記上級

全経簿記上級直前対策パック

1級学習経験者対象 (全13回)

開講案内

Web通信 11/28(火)より発送開始
映像通学 11/28(火)より視聴開始
Webライブ・教室通学 12/10(日)より順次開講

受講料 (消費税10%込) ※入学金免除

39,000円~

詳細・お申込みは資格の大原ホームページにて!

日商簿記

1級直前対策パック

1級学習経験者対象 (全30回)

開講案内

Web通信 1/30(火)より発送開始
映像通学 1/30(火)より視聴開始
Webライブ・教室通学 2/25(日)より開講

受講料 (消費税10%込) ※入学金免除

81,100円~

詳細・お申込みは資格の大原ホームページにて!

日商簿記第165回(2023年11月検定)

1級解答速報

模範解答および採点基準は、学校法人大原学園が独自の見解で作成しており、試験機関による本試験の結果等について保証するものではありません。また、予告なしに内容を変更する場合があります。模範解答等の著作権は学校法人大原学園に帰属します。

1級：商業簿記

問1 20X6年度における損益計算書を作成しなさい。

損益計算書		自20X6年4月1日 至20X7年3月31日		(単位：千円)
I 売上高		(①)	6,162,115)
II 売上原価				
1 商品期首棚卸高	(①)	648,000)	
2 当期商品仕入高	(①)	3,941,850)	
合計	(4,589,850)	
3 商品期末棚卸高	(①)	538,850)	
差引	(4,051,000)	
4 棚卸減耗損	(①)	7,050)	(4,058,050)
売上総利益	(2,104,065)	
III 販売費及び一般管理費				
1 販売費	(①)	810,400)	
2 一般管理費	(①)	238,800)	
3 退職給付費用	(①)	5,190)	
4 貸倒引当金繰入	(①)	13,850)	
5 減価償却費	(①)	88,772)	
6 資産除去債務利息費用	(①)	1,082)	(1,158,094)
営業利益	(945,971)	
IV 営業外収益				
1 有価証券評価益	(①)	31)	
2 為替差益	(①)	230)	
3 受取利息		4,687	(4,948)
V 営業外費用				
1 有形売却損		87		
2 社債利息	(①)	9,773)	(9,860)
経常利益	(941,059)	
VI 特別利益				
1 社債買入消却益	(①)	1,970)	
2 固定資産売却益		500	(2,470)
税引前当期純利益	(943,529)	
法人税、住民税及び事業税	(①)	132,500)	
当期純利益	(811,029)	

問2 20X6年度の貸借対照表における次の(1)～(5)の金額を求めなさい。

(単位：千円)

(1)買掛金	(2)契約負債	(3)資産除去債務	(4)社債	(5)繰越利益剰余金
② 504,540	② 160,385	② 29,637	② 291,583	① 923,029

1級：会計学

問題1

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
① 減算	① 資産	② 400	① 懸念
(オ)	(カ)	(キ)	(ク)
① 担保	② 21,525	① 見積り	① リスク

※別解：(カ) →21,526

問題2

連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	株主資本				その他の 包括利益 累計額	非支配 株主持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式			
当期首残高	1,000,000	①500,000	①320,280	△80,000	①22,400	①140,520	1,903,200
当期変動額							
株式の発行	①100,000	①100,000					200,000
剰余金の配当			①△20,000				△20,000
親会社株主に 帰属する当期 純利益			①121,430				121,430
自己株式の 処分		①△2,000		① 20,000			18,000
子会社株式の 売却による 持分の増減額		①10,080					10,080
株主資本以外 の項目の当期 変動額(純額)					①△3,700	①75,540	71,840
当期変動額合計	100,000	108,080	101,430	20,000	△3,700	75,540	401,350
当期末残高	①1,100,000	608,080	421,710	①△60,000	18,700	216,060	2,304,550

※負数（借方金額）については、△を付しなさい。

※空欄とすべき箇所については、「-」などを付す必要はなく、空欄のままとしなさい。

1 級：工業簿記

問 1

①	120,000 円	①
②	80,000 円	①
③	44,800 円	①
④	83,200 円	①
⑤	150,000 円	①

問 2

仕 掛 品

月初有高	578,000	当月完成高	(① 1,890,000)
直接材料費	(① 865,000)	月末有高	(① 253,000)
直接労務費	(① 245,000)		
製造間接費	(① 455,000)		
	(2,143,000)		(2,143,000)

問 3

直接材料費差異	消費数量差異	①	7,200 円	(借方 ・ 貸方)
直接労務費差異	賃率差異	①	7,600 円	(借方 ・ 貸方)
	時間差異	①	5,600 円	(借方 ・ 貸方)
製造間接費差異	予算差異	①	8,400 円	(借方 ・ 貸方)
	能率差異	①	10,400 円	(借方 ・ 貸方)
	操業度差異	①	7,000 円	(借方 ・ 貸方)

※ 差異が借方差異であるときは「借方」、貸方差異であるときは「貸方」を○で囲むこと。

問 4

月次損益計算書

(単位：円)

売上高	(① 2,852,000)
売上原価	
月初製品棚卸高	405,000
当月製品製造原価	(① 1,890,000)
合計	(2,295,000)
月末製品棚卸高	(① 585,000)
差引	(1,710,000)
標準原価差異	15,000 (① 1,725,000)
売上総利益	(① 1,127,000)

問 5

①	①	製造	購買	営業	経理	適切なものを1つ○で囲むこと。
②	①				417,750 円	
③	①		借方	貸方		適切なものを1つ○で囲むこと。
④	①	期首有高	当期購入高	当期消費高	期末有高	適切なものを2つ○で囲むこと。

1 級：原価計算

問

ア	①	△20,000,000	(円)
イ	①	9,000,000	(円)
ウ	①	3,000,000	(円)
エ	①	900,000	(円)
オ	①	△10,100,000	(円)
カ	①	4,200,000	(円)
キ	①	1,500,000	(円)
ク	① (△)	900,000	(円)
ケ	①	4,800,000	(円)
コ	①	6,920,560	(円)
サ	②	19,200,000	(円)
シ	②	15,795,878	(円)
ス	①	5,695,878	(円)
セ	②	20,688,600	(円)
ソ	②	17,020,553	(円)
タ	①	6,920,553	(円)
チ	①	4	(年)

a	①	業務
b	①	加重平均資本コスト
c	①	内部利益
d	①	回収期間